

なごやかに総会開かる

三翠化学会

(題字は稲川先生)

第15号
昭和56年12月31日発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学科内
電話/津(0592)32-1211
振替/名古屋9-59345
印刷/株式会社ある

昭和56年度定期総会

懇親会で利き酒も

新役員でスタート

昭和五十六年度三翠化学会定期総会が、五月三十一日午前十一時から三重大学農学部内の三翠会館一階大広間で開催された。当日は恩師奈良、赤木、松嶋、梅林、小宮の各先生を始め七十余名の会員の参加を得て盛況のうちに行われた。

懇親会は岩田君、塩谷嬢(院)二人の司会で、赤木先生の音頭と利き酒の乾杯で始まり、鈴木克己氏(大12)による利き酒の説明ののち、全員利き酒を行なった結果、大井氏(専2)が優勝、渋谷氏(大4)が準優勝した。この模様の詳細は別の記事にゆずり、表彰式ののち、今西勝氏(専1)のリーダーで三翠応援歌を合唱し、渋谷新副会長の音頭と万歳三唱して会を閉じた。

新役員でスタート

監事から監査報告があり、いすべりと同じ場所で開催会がもたれた。今年度の懇親会の趣向は、三翠化学会会長野修氏(専2)、新役員相互の親睦を

岡田芳次郎

再任にあたって

江田賞の栄誉に

岡崎直人氏(大14)

奈良省三先生

日本澱粉学会賞に輝く

会費納入のお願い

昭和56年度三翠化学会役員

総会は辻静夫氏(大19)の司会で始まり、議長に今井滋氏(大9)、議事録記録、署名人に田中実氏(大20)をそれぞれ選出した後、岡田会長の挨拶につづいて、今井議長によって議事が進められた。まず、田口幹事から昭和五十五年度事業報告、小山幹事より昭和五十五年度会計報告、つづいて若林監事による会計監査報告があり、いすべりも別表のように承認された。

本年度は役員の変更期に当るため、新役員の出選が行なわれた。会長には引き続き岡田芳次郎氏(専1)の留任が決まり、それぞれの役員が選出された。次に、岡田新会長の挨拶につづいて幹事と今年度の評議員が会長から指名され承認された。

私共の三翠化学会が充足してから八年有余、全く早いもので本年の総会をもって九回目の総会を迎えたことになりました。この間、会員諸氏には益々ご活躍が進展されるとともに、本会もまた、益々の隆昌発展をみまされたことは、関係者各位のご努力の賜物であり、誠に同慶の至りです。

昭和五十六年十一月の醸酵工学学会において岡崎直人氏が江田賞(後述)を受賞しました。受賞のテーマは「製麹の定量化に関する研究」であり、この研究のポイントは、米麹の様な固体培地上における麹菌の増殖を定量的にとらえる方法を確立し、自動増殖測定装置を開発して清酒醸造に有効な製麹法を設定した点にあります。

昭和五十六年度の日本澱粉学会大会が六月九日、十日の両日、学技術研究交流センターにおかれましては、ご協力の賜り誠にありがとうございます。今年度は、ご協力の賜り誠にありがとうございます。今年度は、ご協力の賜り誠にありがとうございます。

昭和五十六年度の三翠化学会役員は、会長に岡田芳次郎(専1)、副会長に渋谷明(大4)、幹事に大井(専2)、若林(専1)、監事に中川(専2)と、若林(専1)が再任されました。

三翠化学会記念事業基金会計報告

収入の部(単位円)	現金管理内容
前年度より繰越	郵便定期預金
基金納入	銀行定期預金
基金利息	郵便普通預金
計	計

三翠化学会記念事業基金会計報告

収入の部(単位円)	支出の部
前年度より繰越	印刷費
基金納入	振替手数料
基金利息	55年度卒業生記念品(シャーペンシル)
計	55年度こうより
	56年度新入生歓迎会
	計

当世学生気質にふれた事など

母校の教壇に立ちて

専一 笠井邦孝

母校の教壇に立ちて今年で四年目になる。といつても早合点されては困るが、大学教授になつたのではない。非常勤講師なのである。担当科目は「理科教育法」。これは近年とみに農学部学生の中に、教員免許状の取得希望者が増加し、そのため従来の教育学部で修得していたのが、農学部独自で開講した理由によるらしい。嶋林教授の懇請により、浅学非才の身で厚くましくも後輩諸君に講義しているわけである。

理科教育法から、教員生活三十年の実績と経験を踏まえて講義してもらえばよいとのこと、安易に引受けたのが誤りのもとであった。講義ともなると経験や実績だけでは、どうしても不足しない。そこにはある程度学問的な体系を必要とし、自分なりに講義内容を構築してからならなければならない。その準備が大変であった。というのは、自分自身の教育法を受けた経験がなく、(単位をとらなくても卒業資格だけで教員免許状を交付された。)内容がどんなものか皆目見当もつかなく、前々から、参考資料をあさり、前任者の若林長生君(専一)にも資料を借りるなどして、約半年どうにか自分なりの構成をしたのである。

ところで、この四年間大学生諸君に教壇を通して、接して感じるのだが、最近の学生諸君は実に思ふ通りに思う。冬は全館スチームが通っており、適度に暖房のきいた教室の中で、適度に講義を聞いて適当にノートをとる、飽きてくればノートを閉じて悠々と退場していく。それと入れ違いのように、張ればたい赤く充血した眼をしてのんびりと入場して

なつたのは、なんと一名も聞かぬ。もつとも最近では高校教員の採用人数が僅かであるため競争倍率は極めて高い関係もあるが、それにしても我々三翠化学出身の先輩教員からみて嘆げかわしい限りとは思ふ。こんな駄文をろうして後輩の学生諸君の活気のなさを嘆くのも、一つはもつと我々の後に続く諸君があつてもよきさうだと思ふ切ない願望からである。

三翠化学会教員支部の連中がよりより集まって会合を開く際よくこの点が話題ともなる。私も最終講義のなかで、最後にはこの問題にふれ、後輩諸君に、ハッパをかけてはいるものの、なかなか実現しそまない。

何も教員ばかりが就職の道ではないが、我々先輩教員からみれば、少くとも毎年一、二名ぐらいの後輩が教員として誕生してくればどんなに心強いことか。

第一期生である私は、もう数

内地留学の福岡から

大13 古市幸生

文部省内地研究員として九州大学で研究に専念出来る機会に恵まれ、この五月一日より十ヶ月間を福岡で過ごしております。

留学先は農学部食糧化学工学科栄養化学研究室、主として脂質の栄養生化学的研究が行われており、脂質を研究の対象にしていてという点では全国の農学系の栄養化学講座の少数なうちのひとつであります。特に最近では動脈硬化症をはじめとする成人病との関連で脂質の栄養が注目されており、その生化学的研究は発展が期待されております。研究室では、脂質の栄養に関する研究分野の中で、主として、食餌によるコレステロールの吸収と代謝の制御および血漿リポタンパク質について研究が行わ

年で停年を迎えることになり。学会出身の先生が生まれてくるとの間一人でも多くの三翠化学を折るや切である。

クラス会だより

20回生湯の山に集う



十一月七日、湯の山温泉の希望荘において、農芸化学科二十回生のクラス会が開催された。今回は地元三重県で開催する予定になっていたが、なるべく大勢が集まるように、九月から案内を送付して、ぬかりなく準備を進めたつもりであった。

当初の返事は十五名が出席の予定であり、まずまずの集まり具合であると思っていたが、仕事の都合や家族の都合等で、一人ぬけ、二人ぬけ……とうとう恩師の熊沢先生を含めても九人の出席になってしまった。しかし全員定刻の五時には集合し、話の花が咲いた。我々は卒業して、満九年になるが、この時期

最初に話が出るのは結婚の話である。また二十六人の卒業生のうち、まだ六人が売れ(買)話をしてわいわいがやがや続けながら、夜おそくまで飲みつづけた。翌日は太陽が出ているのに、途中のけしきはすばらしいものであったが、山頂に近づくにつれて、雪が降りはじめた。山頂は完全な吹雪になっていた。一足早く冬がきた感で、寒さにくるえながら、足もとがすべるのをやつのこと、こらえてカモンカセンターまでの間を往復して、早々に帰途についた。今日は一日で秋と冬の両方が体験できた。来年の予定は、我々が卒業して十年をむかえるので、三重大学で開催する予定である。坪内記

雨が降るおかしな天気であった。雨が降るので、スカイラインをドライブしようと思いが、

見えるのは、ちょっとシャクですが、ニューファミリーで、物を通して、より良い交流ができるように、皆様方の御協力をお願いします。(文責・八七川)

恩師を囲んでひとときを

東海支部第3回総会迫る 昭和57年 2月21日



想えば、東海支部も満四歳になろうとしています。誕生しましたのが、昭和五十二年四月、桜も満開の東別院青少年会館でした。予想を越えた百五十名以上の同窓生が集まり、盛大に発会を祝うことができました。別府会長(専一)、毛利(大二)伊佐(大三)副会長を中心とした遊びのうちに親睦をはかろうと、いろいろなイベントを重ねてきました。なかでも、ゴルフは、よそのコンペには出にくい、スコアなんて考えたくない人たちにも好評です。最近では「化学」の枠を越えた「農学部」の親睦

職場紹介

大1 岡本正雄

庄野澱粉株式会社

ここ数年、奈良先生、赤木先生の引率で学生諸君に工場見学を賜っています...

よシーンを最後に甘しょ澱粉製造に見切りをつけ翌年春より輸入として原料とする...

一定の比率によるコーンスターチの発注権を与える。発注を受けたコーンスターチメーカーは...

白としての利用の域を出なかつた。つまり甘しょ澱粉を何とかもつと利用価値の高い製品に仕上げ...

大学院に進んだ友人からの就職により、また、結婚によりな...

最初の仕事は、省エネに関することでした。すなわち電気、ガス、蒸気等のエネルギーの...

入社した年が、伊勢湾横断規格の実施される前年であった...

先生の主催される玉声会々員として、須磨方面で催された...

マスヤ食品株式会社

大28 堀英一

味に有り

三翠の学舎を果立ってから、満二十五年になろうとしている...

新しい仕事に挑む 農芸化学科の仲間達

「豆乳」工場の日々

大29 兼子 明

原稿依頼の手紙が届いたのは十一月中旬、人間扱いとは思えない勤務の夏が過ぎ去り、精神的にも肉体的にもやっと落ち着いてきた頃でした。

私の会社は、「マルサン食品(株)」。「マルサンみそ」として有名な、岡崎マルサン(株)の同族会社で、同じ場所であり、内部組織としては、ほぼ一つの会社として動いています。

たが夏休みというものです。盆休みにさへ、前述したように大変忙しくわすれ一日でして、あとは機械整備等に追われてしましました。小学校三年生から大学四年生まで、足掛け十四年続けた水泳も、今夏はわずか三度水にはいっただけで終わってしまいました。数少ない貴重な休日を有効に過ごしたかと思えば、そうでもなく、まだまだ休日の使用は学生時代と変わらぬままと思っています。これはないなあと感ずいています。

この原稿を書いているうちに、大学時代のことが、懐しく思い出されました。原稿依頼状を送っていたた嶋先生は、生化学工場の仲間での飲み会の二回だ

けです。新入社員歓迎会というものも期待していたのですが、みごとに肩透かしとなりました。新入社員が、私と女性ひとりだけという寂しいものだったからでしょう。このため、入社式の行なわれず、研修も会社組織の説明程度で終わってしまい、三月上旬からアルバイトとして来ていた豆乳工場へ早々と送られ、新入社員としての緊張はあまり味わえませんでした。ただ、味噌を基礎とする会社に居ながら味噌の工場実習ができなかったことが心残りです。

自分なりの 農業めざして

大29 横山 昭吾

大学を卒業し仕事を始めてもう八カ月が過ぎました。早いもので一年には余りなく、短かすぎる時間だとは思いますが、やっぱり振り返れば早いものだと感じます。ぼくの場合、仕事は農業であり、家を中心として生きています。同じ業界に仕事をしている仲間には、月を同じく見ている仲間が、月を見直すとどういふか、思いません。卒業してから何回か同じクラスの人と会って話したり、又中学の時のお友だちと会う機会がありました。でもそれは、畑

高校時代に生物を履修せずに農芸化学へ来たという一風変わった人間で、生物に関する事は無知からスタートしたため、知識を自分のものとするのに、長い時間が必要と感ずいてしまいました。それと、駅伝大会も忘れられませんが、何かと又かと言わねばならない。四年前のことと最も距離の長い上り坂の二区を走り、特に四年生の時には、A、Bの両チームと水泳部チームの一員として三回走り、その距離の合計が十五km以上になったことは私の自慢のひとつです。また、三年生の時には、農芸化学が始まってからの優勝で大きな喜びと感謝を味わうことができました。

丈夫な体を 武器にして……

大29 原田 功一

「アッ、痛い、痛い」この瞬間、私の左手の指の爪は、包装機のチェーンにはさまれ、はがれ骨折しました。忘れもしません。あれは、十一月九日午後四時の労災です。

卒業以来八カ月、ただ忙しいだけで過ぎてしまいましたが、来春より豆乳のJAS規格が出来ます。今迄以上に、豆乳の品質管理に気を配ることが必要になります。そこで、大学で得た知識をできるかぎり生かし、さ

らに新しい知識を身につけようと希望に燃えています。最後に一言、工場内で働くには、機械

と電気の知識が必要だと痛感しています。(56・11・28)

「アッ、痛い、痛い」この瞬間、私の左手の指の爪は、包装機のチェーンにはさまれ、はがれ骨折しました。忘れもしません。あれは、十一月九日午後四時の労災です。

私には仕事上の苦労を我慢して、社内から製品を一切受けつけないから、製品に対する監視といった、それは厳しいもので、包装の印字が例えば「Y」に見えるといいてやりなさい、サンドのもの、クリームがはみでているといいて仕込み直したりするのです。このような事は、シキママンでもフジパンさんでも当然の事でしょうが、私は驚くべきことに、おかげで、パン製品を見る目は養えたと思っております。

また、ヤマザキに限らず、多くの会社にあると思いますが、「夜勤」の経験も初めてでした。当社は二週間交替で夜勤があります。一般的に夜勤はきついのですが、二日三日で、あとは体が慣れるのか、屋敷より楽だと思えました。最も、今自分がまだ若くて独身のせいもあるでしょうけど、昼の間に結構外へ出歩いてみます。しかし、三十、四十過ぎては、夜勤のある現場で働いていたらと考えると、ゾッとします。それで、そうならなないために、発奮中です。後輩の人で、体力に自信があつて、肉体労働がかわらないと考えている人がいたら、どうぞヤマザキに御越し下さい。高卒の女の子は多いし、給料も良い、食べるものにも困りませんよ。今ですと、あんまり、肉まんなんかをもらって夜食にしています。会社人となって、まず思った事は、自分の時間が少なくなったという事です。仕事を頑張っているから前ですが、今度の日曜日に何をしたいか、今日までの間にこれだけしておこうという調整が、学生の時よりできない。しようと思えば、睡眠を減らすしかない訳で、これはなかなか難しい。結局は、もうヤメタという事になる。で、たまの休みには、パチンコでもして時間を潰す事になる。

以上、会社人一年生です。まだまだ責任の軽い仕事しかまかせられなくて、視野の狭い見方でしょが、一つ一つ仕事をマスターできるような、今は仕事に熱中し、先輩に追いつき、追い越せる心構えで、三重大学農芸化学科をより少しも価値ある名としたらと思います。

社会人 一年生

場合、幸か不幸か夏の間、いくつかのトラブルに立ち合い、運転中にトラブルが起きた際の対処法や、機械内部の構造を知ることができました。様々なトラブルと遭遇したことは、会社としての損得はさておき、私個人の問題としては、豆乳工場従業員として一人前になるための大きな近道だったと思っております。近道をする者には、大きな崖をよじ登る場合もあるでしょう。この夏の勤務のつらさも、これと同じと考えれば良いのだと諦めていきます。業をしようと思えば長い時間が必要となり、短い時間で済ませようすれば苦労をする。ここにも、運動量保存法、質量保存法と同じような法則が成立しているのですね。さて、私が社会人となって、学生生活との違いを痛切に感じ

昭和五十六年度新入会員の紹介

紹介にあたりひとこと

今年の三月には34名の卒業生が全員揃って三翠化学同窓会に入会されました。実社会に出て動いているもの、大学の研究室に残り研究を続けるものなど、その方向はいろいろであるが、皆元気に集立って行きました。

土壌・肥料学講座

近藤 隆 (三重大大学大学院・当講座)

今頃は新しい職場にも慣れ、そろそろメッキがはがれ、地金が出てきた頃だと思えます。職場の先輩や同僚にも大変迷惑をおかしているのではないかと心配していますが、取り越し苦労であって欲しいものです。

さて、我々教官一同は常日頃学生諸君からその仕ぐさや特徴をとらえられ、落書きや物まねやら、果てはイタズラ書きのミニコンが津の町中をネリ歩いたり等々、面白おかしく紹介されたりしております。そこで、今回はその御礼に御指導された先生方をお願いして、専攻生

プロパー活動に従事

大29 土田 新一郎

四月の入社から十月までの半年間の研修が終わり、今、一人前(半人前かな)の社員としてプロパー活動をしています。半年間の研修のうち四ヶ月は神戸のホテルで、残りの二ヶ月は赴任地の三重県で。プロパー(我が日本チバガイギーでいうと「Representative of」)と呼ばれる仕事は自社の医薬品をDR(ドクター)たちに宣伝して使ってもらうことにあります。セルスマンではありません。神戸の研修では、基礎医学、薬理学、薬理、生理学、病理学など、医薬品を宣伝するうえでの、DRとある程度対等にしゃべれる程度の基礎知識と、自社製品の薬理、薬効などについてと教え込まれました。現地研修では先輩社員に連れられて、県内の病院をまわりました。

本社の意志なのでしかたありません。毎日あちこちと走りまわっています。さて日本チバガイギー社は知名度が低く、ご存知の方は少ないだろうと思いますが、日本チバガイギーは、スイスのパルセル市にある世界第二位の総合化学会社 CIBA GEIGY 社の百%子会社で、日本の資本金は二百億円(武田薬品に次いで二番目)、医薬品の売り上げは十二位(外資系では台糖フレイザーに次いで二番目)という会社です。山田先生ご愛用のメルカケられない忙しいDRは皆さんに頭を下げるのは当然のことだと思っております。この会社に、この仕事を選んだ良かったか悪かったか結論を出すのは尚早すぎるので控えさせていただきます。現在「doing my best Brooping in the dark」

の一人ひとりの特徴を短い言葉で、出来るだけ正直に書いてもらおう様をお願いしましたところ、常日頃の「ウラミ」を果す絶好のチャンスとは張りきって御投稿していただいたので、以下に専攻生毎にまとめて記載いたしました。

横山昭吾 (自営) パンジョを弾きたくて、もう一年落第しようかと迷った末、やっぱり卒業することにして、四年次で単位のかなりの部分をこつた猛者。

生物化学講座

浅井和夫 院卒 (三翠化学)

すでに二年前に学部を卒業し今年大学院を終了した。ウィットに富み、ユーモアのある男。趣味も広く、特に鉄道写真はプロ級。

荒木幸隆 (明治乳業) 大へんな読書家で、神田の書店へよく出かけていた。和書の

みならず、洋書もスラスラと読みこなします。岩田将司 (三重大大学大学院・当講座) 奈良の大邸宅の御曹子で、彼の家の周囲には、お堀が巡らされてあります。彼のは何でもスケールが大きい。

上野幸子 (コミー) 可愛らしい声の持ち主で、体がはかばかしく、お洒落なファッションが大好き。川崎 隆 (サンジルス醸造) 頭の回転は仲々良いが、ちょっと先走るところがあるようだ。鈴木弥生 (日本データコントロール) 非常に明るく、男性諸君には早く名のりをあげて射止めたい方が良いと思います。

農産製造学講座

児玉 隆 (サンジルス醸造)

非常に明るく、男性諸君には早く名のりをあげて射止めたい方が良いと思います。

吉野典生 (三重大大学大学院・当講座) 非常に明るく、男性諸君には早く名のりをあげて射止めたい方が良いと思います。

片桐久代 (コミー) 正装したときのプロフィールは高貴な女優の輝き。口を開けば足らずのレロ子。いいパートナーに恵まれる。小武海富士子 (伍話協会) 色白の秋田美人。女性にしては珍らしく静か。デンと構えて物に動ぜず頼りがいあり。

前川重樹 (太陽化学) 全身これATP。よく動く。常用のビタミン剤の効果切れ時が心配。親切一途(女性)梅川逸人 院卒 (三重大大学薬学部薬理教室)

醸造学講座

上野直行 (敷島製パン)

将棋二段とはとても思えぬユックリした仕ぐさ。馬子にも衣装で、スーツだけは不思議に似合う。ねばり強さ抜群。

梅川逸人 院卒 (三重大大学薬学部薬理教室)

松本健志 院卒 (中央発條) 三重大の出身ではなく、名工大から来た変わり種である。二年間の努力が実って無事卒業した。彼のすばらしい返事は定評がある。

久野宏和 (藤吉工業KK) 水処の知りで、農芸化学の頭脳とも言われたが、落ち着きに欠けるのが玉にきず。植物を愛し古典を愛する。

食品化学講座

兼子 明 (岡崎マルサン)

岡崎市出身。オカザキマルサンに就職。新製品の開発に努力中。学生時代、水泳部の有力選手、一位に輝いた伝伝大会で一日中コーヒを飲みながら研究室に在室。

土田新一郎 (日本チバガイギー) 大山市出身。チバガイギーに就職。空手で鍛えられたが、体でこわいもの知らず。書道四段、絵も大変なもの。見る間に何でも書きあげ。

指導教官の目から見た

34名のプロパー

堀田三雄 (三重県食糧販売) 悠々として、大人物になる可能性十分。仏頂面にはお目にかかったことがない。

松本邦子 (伯東ナルコ化学) 時々飛び出す名古屋弁。何故か落ち着いたところがある。

山口千浪 (御木本製菓) 流行のファッションが良く似

大学祭の話題さらった農化展

総会懇親会だより

先輩たち自慢の酒で乾杯

毎年一回の総会には何を目玉にするか、いつも頭を悩ませるが、今年は学生の大学祭の日に合わせて総会を開催したので、その行事を利用して、「安上り」で全員が参加できる「利き酒会」を行なうことにした。

卒業生の造った酒に酔う

「利き酒会」を思いついて、まず、相談したのは三重県下酒造関係の御所的な存在である長野修氏(専二)だが、御快諾頂き、さらに、酒造会社の社長である河合美登利氏(大三)清水寛氏(大三)からも積極的な御支持を得たので実行に移すことにした。

女性上位の利き当て会

利き当てのテーマは「辛口?甘口?」であり、比重の異なる四つの酒(プラス五の極辛口、プラスマイナスイの辛口、マイナス五の甘口、マイナスイの極甘口)を猪口に用意し、写真の様な状況で飲み比べをした。開始に先立って、三重県醸造試験所の鈴木克巳技師(大十二)より種々の説明をして頂いたが、皆上の空で、ひたすら飲み、且つしゃべりまくってはかりいた様である。

成績は、各クラス対抗では熟年の専二チーム(大井、竹内、蛇足)ながら、この成績が、彼女らと同級生である懇親会の司会者(岩田将司氏及び塩谷直美氏)のカンニングではないことを証明する。尚、赤木先生は成績不良のため、幸か不幸か、罰ゲームとして、得意の詩吟を披露することになった。また、三回連続満点の大井氏(専二)は優勝の言葉を述べてくれたが、その自己紹介から、実は酒類の販売業者であることが判り、さすがに、その道のベテランは違ふものであると感心した。

県下七十銘柄の飾り樽の前で解散

三翠化学会とは別に、学生の

女らと同級生である懇親会の司会者(岩田将司氏及び塩谷直美氏)のカンニングではないことを証明する。尚、赤木先生は成績不良のため、幸か不幸か、罰ゲームとして、得意の詩吟を披露することになった。また、三回連続満点の大井氏(専二)は優勝の言葉を述べてくれたが、その自己紹介から、実は酒類の販売業者であることが判り、さすがに、その道のベテランは違ふものであると感心した。

この寒空に咲く桜

心なごます時ならぬ花吹雪



三翠化学会員の「驚異のヨーグルト」

神辺道雄氏著/講談社刊

神辺氏は昭和三十七年に三重大学農芸化学科を卒業し、明治乳業株式会社に入社して、以来内容をヨーグルトの歴史から効果や調理方法まで広く書かれています。

田中先生は去る十二月三日東京目黒の御自宅で老衰のためなかられました。行年八十五才でした。

田中庄助先生 御逝去

募稿 原集

紙面の充実をはかり、会員相互の連携・情報交換をより緊密にするため、原稿を募集しております。どんな原稿でも結構です。どしどし投稿して下さい。「三翠化学」を情報交換の場として活用してください。

醋酸菌の研究の大家であり、講義のスラスラと弁も有名で、また、スポーツマンとしても活躍され、野球部や弓道部の顧問として熱心な指導をされました。

きさき酒会で舌競う

三重 景品つき人気集中 大学祭

近ごろの大学生はお酒にも「つつ」し、津市・三重大学祭四日目の三十一日、農学部農芸化学コースで県内の地酒七十種類をずらり並べ、「甘」「辛」「口」の日本酒を当てるきさき酒判定コーナーが設けられ、人気を集めていた。

このコーナーは、同コースの三年生が主体となり計画、全学生の応援で、テーマ「微生物」の大農芸化学展として開設されたもので、この日はその第二日目。また、出品、展示された日本酒は地酒ばかりで、県酒造組合連合会「津市」がPRを兼ねて全面協力。なかには県内の酒造会社に勤める同学部先輩

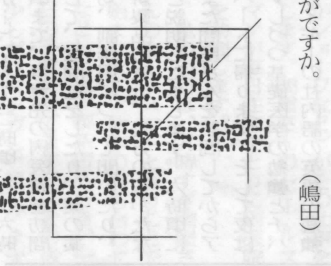


大学祭一番の人気 農芸化学展

伊勢新聞の記事より ー原文のままー

「利き酒会」を思いついて、まず、相談したのは三重県下酒造関係の御所的な存在である長野修氏(専二)だが、御快諾頂き、さらに、酒造会社の社長である河合美登利氏(大三)清水寛氏(大三)からも積極的な御支持を得たので実行に移すことにした。

このコーナーは、同コースの三年生が主体となり計画、全学生の応援で、テーマ「微生物」の大農芸化学展として開設されたもので、この日はその第二日目。また、出品、展示された日本酒は地酒ばかりで、県酒造組合連合会「津市」がPRを兼ねて全面協力。なかには県内の酒造会社に勤める同学部先輩



醋酸菌の研究の大家であり、講義のスラスラと弁も有名で、また、スポーツマンとしても活躍され、野球部や弓道部の顧問として熱心な指導をされました。